

次世代型商店街形成支援事業費補助金要望書

提出日 令和6年4月22日

1 事業者名	〇〇商店街振興組合
2 担当者職氏名	宮城 太郎
3 連絡先	TEL : 022-211-2746 FAX : 022-211-2749 E-mail : syokokins@pref.miyagi.lg.jp
4 補助事業について	
補助事業の区分	ビジョン形成 ・ 課題解決 ※該当事業を□で囲むこと
補助事業の概要	商店街の現状と課題を踏まえ、「地域住民が気軽に来られる安心な商店街」形成のため、スタンプラリーや防犯キャンペーンの開催、施設の整備等を行う。
5 その他	

※別紙1「事業計画書」（該当する事業区分）、別紙2「収支予算書」、別紙3「支出明細書」を添付すること。（事業の詳細等が決まっていない場合は、概要・概算額を記載願います。）

別紙1（課題解決に係る事業計画書）

事業計画書

申請者名：〇〇〇

1 事業者及び商店街の概要

事業者名	〇〇商店街振興組合		
所在地	宮城県〇〇〇		
代表者名	宮城 太郎	組合員(会員)数	30人
	設立年月日	昭和〇年〇月〇日	
事業の実施場所 (商店街の名称, 所在地等)	<p>名称：〇〇商店街 所在地：宮城県〇〇〇 ※商店街団体以外が申請者の場合は関係する商店街や事業実施場所の範囲を記載してください。</p>		
商店街の店舗数	〇〇店舗	うち空き店舗数	〇〇店舗
商店街や地域の特徴	<p>※立地特性, 来街者特性, 商店街のもつ資源等を記入 昭和〇〇年に設立された〇〇商店街は、〇〇駅から続く〇〇通りに位置しており、〇〇市における中心商店街の一角を担っている。地域では高齢化が進んでおり、買い物客、商店主ともに高齢な方が増えてきている。 商店街には主に日用品の買物などにおいて地域に密着した店舗が立ち並んでおり、地元からは一定に支持を受けている。 店舗は最寄り品小売店〇〇店舗、飲食店〇店舗、で構成され、客層の〇割は60代以上が占めている。</p>		
商店街活性化のために、これまで取り組んできたこと	<p>※過去, 現在の取組を記入 地域に密着した商店街として、〇月には夏祭りを開催し、地元のお客さんで賑わいを見せる。また、商店街の魅力発信を目的として、〇月にマルシェを開催している。</p>		
消費者・地域のニーズ等	<p>※消費者・地域のニーズ及びその把握方法を記入 令和〇〇年に、求められている商店街像を把握するため、商店街への来客者や〇〇地区の方々に対して、アンケート形式のニーズ調査を行った。その結果、ニーズは地域住民が気軽に交流できる「安全で安心なコミュニティの場」が最も上位に来た。</p>		
商店街や地域の現状及び課題	<p>当商店街が設立された当初から、商店街としては「便利に買物できる場」の提供を目指している。 これからの商店街を考えると、上記に加え、「安全で安心なコミュニティの場」を目指し、ニーズにあった商店街へと方向転換していかなければならないと考える。</p>		

2 事業計画

事業の実施時期	令和6年9月～令和7年3月
商店街のビジョン（将来像，目指す姿，コンセプト等）	「地域住民が気軽に来られる安心な商店街」 少子高齢化の進む地域にとっての「便利に買物できる場」でありながら、「安全で安心なコミュニティの場」を目指し、現在のニーズに適合した商店街の形成を図る。
事業推進体制	〇〇商店会 関係する行政機関と連携を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇スタンプラリー」の実施 商店街の魅力発信を目的として、スタンプラリーを開催する。来街者の密集を避けるため、開催期間は2ヶ月とする。 ・防犯キャンペーンの実施 スタンプラリーの開催に併せて、消防・警察・行政と連携した防犯キャンペーンを実施する。 ・店頭照明の整備 商店街の店舗の店先に照明を設置し、夜でも明るく安心して歩ける商店街の実現を図る。
事業実施スケジュール	〇月 スタンプラリー等開催準備 〇月～〇月 スタンプラリー、防犯キャンペーンの開催 〇月～〇月 店先照明の検討、設置
次年度以降の取組	次年度以降も新型コロナ等の状況を見ながら、マルシェやスタンプラリー等の取組を継続する。 さらに、高齢化が進む地域であることを考慮し、高齢者向けのイベントなどの実施を検討していきたい。
事業実施により目指す効果	「安全で安心なコミュニティの場」を目指し、現在のニーズに適合した商店街の形成を図ることで、来街者の増加を目指す。 来街者が増加することで商店街全体の売り上げの増加が期待でき、商店街と地域が共存できる関係を構築する。

3 その他の添付種類（必要に応じて）

- (1) 事業の対象となる商店街等の区域が分かる資料（地図等）
- (2) 事業者の概要及び活動内容が分かる資料（定款，構成員名簿，事業報告書等）
- (3) 事業内容が分かる企画書（必要に応じて）
- (4) ハード事業及び業務委託に係る見積書

収 支 予 算 書

(収入の部)

(単位：円)

区 分	金 額	備 考
県 補 助 金	2,220,000	
自 己 資 金	908,000	
そ の 他	1,360,000	※国及び地方公共団体の補助金を充当する場合は事業名を記載 〇〇市〇〇事業費補助金
計	4,488,000	

(支出の部)

(単位：円)

事業区分 (ビジョン形成) (課題解決(ソフト)) (課題解決(ハード))	経費区分	補助事業に 要する経費 (a)	補助対象 経 費 (b) (≦(a))	補助金申請額 (c) ビジョン形成 (≦(b)×2/3) 課題解決(ソフト) (≦(b)×2/3) 課題解決(ハード) (≦(b)×1/2)	備 考
ソフト	委託費	660,000	600,000	400,000	
〃	事務費	330,000	300,000	200,000	
〃	広報費	198,000	180,000	120,000	
ハード	商店街施設の取得に係る費用	3,300,000	3,000,000	1,500,000	
合計		4,488,000	4,080,000	2,220,000	

※行が足りない場合は適宜行を追加すること。

支 出 明 細 書

（単位：円）

事業区分 （ビジョン形成） （課題解決（ソフト）） （課題解決（ハード））	経費区分	内 容	数 量	金 額	備 考
ソフト	委託費	イベント企画		660,000	〇〇に委託
	事務費	会議費、消耗品費 印刷製本費		330,000	
	広報費	イベント広告	2 回	198,000	〇〇に掲載
ハード	商店街施設 の取得に係 る費用	店先照明	3 0 機	3,300,000	
合計				4,488,000	